

日本共産党
流山探井後援会

二ニュースあすなる

14年10月15日
第188号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(館内資料)

市民の願いを受けて

暮らしを守りたい意見書

9月4日から開かれていた9月議会が閉会しました。10月7日の最終日、日本共産党が提案した意見書4本中2本が採択、2本が不採択となりました。また、請願・陳情も3件採択されました。

①ラック員の増員等を求める意見書 26：0 全会一致で採択。

②消費税10%増税の中止を求める意見書 9：17で不採択。(反対は、公明党4人、流政会5人、加藤議員、松野議員)

③集団的自衛権行使を容認する閣議決定に対し、撤回を求める意見書は7：19で不採択。(反対したのは、公明党4人、流政会5人、菅野

④学校現場における教職員の増員等を求める意見書 26：0 全会一致で採択。

採択された請願・陳情

議員、酒井議員、加藤議員、西川議員、松野議員

東葛病院の労働組合が出した請願、「安全・安心の医療・介護実現のため、夜勤改善・大幅増員を求める意見書を国に提出することを求める請願書」が、16：10で、採択されました。(反対したのは、流政会5人、誠和会5人)

江戸小トイレがきれい!!

北部地域の小学校4校で運動会がありました。この夏休みにはトイレ清掃業者を入れた江戸小へ行ってきました。そこで、来て受付をしてくださった職員の方に、トイレを案内してもらった。入った瞬間、以前は強烈な匂いだったのに、全く匂いありませんでした。床のタイルも、以前は黄色かった便器も真っ白、ベニア板が剥がれていたドアも、キレイに修繕されていました。

ひとまず「良かったです」と職員の方に声をかけると「職員トイレも綺麗にしてくれて、先生達の方が喜んでます」と言っていました。校長先生にも「良かったです」と声をかけました。清掃だけでは根本的な解決にはなっていないので、「まだ改修されたわけではないので、引き続き取り組みます」とお伝えしました。植田和子



植田和子市議会議員

第14回 植田和子 議会報告会 10月26日(日) 10時~12時 江戸川台東自治会館ホール

9月議会でも日本共産党市議団は、市民の声が市政に届けと頑張りました。紙面では語り尽くせない議会内外のお話をさせていただきます。ご家族・友人・近所 お誘い合わせておいてください。国政についての皆さんのご意見もお聞かせ下さい。

主催 日本共産党北部後援会

原発から撤退 たまた今原発ゼロ!!

流山市の政務調査費とうなってるの?

前号からの続き
5、報告書は年度の集計とともにすべての項目について領収書が必要。公開は、報告書についてはHPで、領収書については、情報公開コーナーで見ることが出来ます。
6、日本共産党の主な支出項目は、年4回発行している「流山民報」の印刷、市民要求アンケートの返信用

封筒の印刷、市議団事務所への賃賃料、自治体学校など研修費です。
7、各会派の支出項目はそれぞれ違いがありますが、領収書まで添付されていますので、市民のチェックが必要。保守会派などは、会派視察が多いのかなと思えます。日本共産党は民報の発行と事務経費でいっぱいではないので、会派視察をするまでの政務活動にはなっていない。経費と考えると、

このように流山市議会には、市民がチェックできるものになっていきます。議員団のこれまでの奮闘によるものと思えます。政務調査費の使い道については今後とも有効な使用をしていくように、皆さんもしっかりとチェックしていきましょう。
市民の声は、市政を動かす事ができます。市の財政の健全化は、市民の方々の「これはおかしいぞ」という疑問を持つところから始まるのですから、

赤旗日曜版に世界的に有名なピアニストの中村絃子さんが述べている。60、90年代、ドイツやオランダのオーケストラでは3割4割が日本人のところもあるほど活躍していた。外資も自由に使えず、生活に苦労しながら留学し、世界で働いてきた。今は日本には立派なホールが増えたと若い日本人の演奏家の演奏の機会はない。ノールベル物理賞を日本人の3人が受賞した。素晴らしい。この賞は研究の成果が出て20年、30年経って評価され授賞することも多い。60年代70年代に企業も大学も自由な研究を受け入れる環境があったからこを育ったのではないかと。現在は国立大学も独立法人化され、企業との連携や卒業生の寄付集めに奔走する。企業も目の先の利益につながるものしか研究しなくなり、文化活動やスポーツ振興などから手をひく。こうしてすぐには金にならない基礎研究がおおざりにされているという。このままでは日本の科学研究も芸術も、日本の文化全般が衰退しかねない。オリンピックの選手養成も然りでメダル目的。安倍総理。本当に国を愛するのなら、百年先の日本を考へるべきでしょう。

こんにちは 植田和子です

10月6日 台風は大丈夫でしたか? 防災行政無線や安心メールもきて、みなさん不安だったと思います。避難所には、昼時点で40人前後が避難されていたので、3ヶ月、5ヶ月の赤ちゃんも居たようです。必要な物資の手配は完了しました、とのことなので、水道利用についても、終末処理場の手立てが完了し、解除される予定だそう。なので仮設トイレは設置しないこととした。道路冠水等、河川も落ち着いてきた。うなので、みなさん、ご安心ください。
10月12日 9月議会も何とか無事に、先週の火

ひとまず「良かったです」と職員の方に声をかけると「職員トイレも綺麗にしてくれて、先生達の方が喜んでます」と言っていました。校長先生にも「良かったです」と声をかけました。清掃だけでは根本的な解決にはなっていないので、「まだ改修されたわけではないので、引き続き取り組みます」とお伝えしました。植田和子



赤旗日曜版に世界的に有名なピアニストの中村絃子さんが述べている。60、90年代、ドイツやオランダのオーケストラでは3割4割が日本人のところもあるほど活躍していた。外資も自由に使えず、生活に苦労しながら留学し、世界で働いてきた。今は日本には立派なホールが増えたと若い日本人の演奏家の演奏の機会はない。ノールベル物理賞を日本人の3人が受賞した。素晴らしい。この賞は研究の成果が出て20年、30年経って評価され授賞することも多い。60年代70年代に企業も大学も自由な研究を受け入れる環境があったからこを育ったのではないかと。現在は国立大学も独立法人化され、企業との連携や卒業生の寄付集めに奔走する。企業も目の先の利益につながるものしか研究しなくなり、文化活動やスポーツ振興などから手をひく。こうしてすぐには金にならない基礎研究がおおざりにされているという。このままでは日本の科学研究も芸術も、日本の文化全般が衰退しかねない。オリンピックの選手養成も然りでメダル目的。安倍総理。本当に国を愛するのなら、百年先の日本を考へるべきでしょう。